

2017年 追課題研究（再提出）のテーマについて

【第1回課題研究テーマ】

「公認会計士に求められている社会的役割を踏まえて、あなたが目標とする公認会計士の姿と、そのためにあなたが取り組んでいこうと考えていることを述べなさい。」

【必要字数】 1, 600字 ~ 2, 400字程度（本論のみ）

【ワープロの場合】 A4白紙に横書き、1ページ1, 600文字

印刷した原稿が、横40字×縦40行となるように設定すること。

【手書きの場合】 市販のA4版400字詰原稿用紙で、横書きに限定（鉛筆書きは不可）

【作成上の注意】 表紙 → 本論（ページ番号を付す） → (改頁) 出典・参考文献を明記

【第2回課題研究テーマ】

「人工知能（AI）が監査に与える影響、すなわち未来の監査像について、あなたの意見を述べて下さい。」

【必要字数】 1, 600字 ~ 2, 400字程度（本論のみ）

【ワープロの場合】 A4白紙に横書き、1ページ1, 600文字

印刷した原稿が、横40字×縦40行となるように設定すること。

【手書きの場合】 市販のA4版400字詰原稿用紙で、横書きに限定（鉛筆書きは不可）

【作成上の注意】 表紙 → 本論（ページ番号を付す） → (改頁) 出典・参考文献を明記

【第3回課題研究テーマ】

「従業員に有償ストックオプションを付与することは、会社及び従業員にどのようなメリットがありますか。また、当該有償ストックオプションの評価と会計処理について述べなさい。」

【必要字数】 3, 200字 ~ 4, 000字程度（本論のみ）

【ワープロの場合】 A4白紙に横書き、1ページ1, 600文字

印刷した原稿が、横40字×縦40行となるように設定すること。

【手書きの場合】 市販のA4版400字詰原稿用紙で、横書きに限定（鉛筆書きは不可）

【作成上の注意】 表紙 → 本論（ページ番号を付す） → (改頁) 出典・参考文献を明記

【第4回課題研究テーマ】

「平成29年7月20日に「収益認識に関する会計基準」並びに「収益認識に関する会計基準の適用指針」の公開草案が公表されました。今後適用されるに際し、1つ業種を選んで、その業種の収益認識基準に与える影響を考察し、あなたの考えを述べなさい。」

【必要字数】 4,800字～5,600字程度（本論のみ）

【ワープロの場合】 A4白紙に横書き、1ページ1,600文字

印刷した原稿が、横40字×縦40行となるように設定すること。

【手書きの場合】市販のA4版400字詰原稿用紙で、横書きに限定（鉛筆書きは不可）

【作成上の注意】

表紙→(改頁)目次→(改頁)本論(ページ番号を付す)→(改頁)出典・参考文献を明記

【第5回課題研究テーマ】

『監査報告書の透明化』について、監査人にとって考えられるメリットとデメリットを挙げ、我が国の監査制度において導入すべきかどうかに関する、あなたの意見を述べなさい。」

(テーマの補足) なお、企業会計審議会監査部会では2017年10月より「監査報告書の透明化」に関する議論が進められ、日本公認会計士協会も2017年11月に「監査報告書の透明化—KAM試行の取りまとめ」という書面で報告を行っている。課題研究の報告にあたっては、これらの議論を参考としたうえでKAMの取り扱いに関する議論を中心に論述すること。

【必要字数】 1,600字～2,400字程度（本論のみ）

【ワープロの場合】 A4白紙に横書き、1ページ1,600文字

印刷した原稿が、横40字×縦40行となるように設定すること。

【手書きの場合】市販のA4版400字詰原稿用紙で、横書きに限定（鉛筆書きは不可）

【作成上の注意】 表紙→本論(ページ番号を付す)→(改頁)出典・参考文献を明記

【第6回課題研究テーマ】

「現行の所得税法にとらわれることなく、公平・中立・簡素という税の基本原理に立脚し、今後30年を展望してあるべき所得税制についてあなたの考えを論述しなさい。」

【必要字数】 6,400字～7,200字程度（本論のみ）

【ワープロの場合】 A4白紙に横書き、1ページ1,600文字

印刷した原稿が、横40字×縦40行となるように設定すること。

【手書きの場合】市販のA4版400字詰原稿用紙で、横書きに限定（鉛筆書きは不可）

【作成上の注意】

表紙→(改頁)目次→(改頁)要旨→(改頁)本論(ページ番号を付す)→(改頁)出典・参考文献を明記

要旨は400字～800字程度でまとめる。(字数の超過・過少は減点)